

栗原地域だより

第 30 号

平成 29 年 3 月 1 日発行

目次

- くりはら田園鉄道公園「くりでんミュージアム」がオープンします！ p1
- 栗原・宮城の新たな特産品化に向けて！「伊達いわな」をご紹介します p2
- 築館なめこ生産組合がブランド化部門で大賞を受賞！
～平成 28 年度「食材王国みやぎ」推進優良活動表彰～ p3
- 栗駒ダムの堆積土砂を撤去する工事に着手しました p3
- 平成 29 年みやぎ総合家畜市場子牛市場の初競りが開催されました p4
- 平成 28 年度農地集積研修会を開催しました p5
- 『主要地方道 中田栗駒線（栗駒岩ヶ崎地区）』の急カーブ解消のお知らせ p5
- みんなで予防！インフルエンザ！！ p6
- 農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています p7

くりこま商家のひな祭り



くりはら田園鉄道公園「くりでんミュージアム」がオープンします！

北部地方振興事務所栗原地域事務所

平成 19 年に惜しまれつつ廃線となった、「くりはら田園鉄道」の貴重な資料や機器を展示した「くりでんミュージアム」が 4 月 1 日にオープンします。

ミュージアムは、鉄道沿線を再現したくりでんが走るジオラマの展示や営業当時の車両の運転席で体験する運転シミュレーター、くりでんの歴史をドラマ仕立てで伝えるミニシアターなど、見て・触って・体験できる施設となっています。

また、春から秋の期間は、「くりでん乗車会」や「レールバイク乗車会」も実施しています。

「くりでん」の魅力をぜひ体感してください。

【オープン】 4 月 1 日（土）

【場 所】 栗原市若柳字川北塚ノ根 17-1

■お問い合わせ 栗原市企画課 Tel:0228-22-1125



見どころ満載の「くりでんミュージアム」



美しい田園風景の中を走る「レールバイク」

栗原・宮城の新たな特産品化に向けて！「伊達いわな」をご紹介します

北部地方振興事務所栗原地域事務所

皆さんは、「伊達いわな」をご存じでしょうか？「伊達いわな」とは、宮城県水産技術総合センター内水面試験場が平成14年に開発した「全雌三倍体イワナ（※）」のことで、平成25年に「伊達いわな」と命名されました。

県では、「伊達いわな」の普及促進と認知度向上及びブランド化を図るため、平成25年に県内養魚場と連携して「伊達いわな振興協議会」を設立し、平成26年に初出荷を迎えた「伊達いわな」の生産・出荷・販売について支援を行っています（平成28年度：協議会員生産者 8名、生産量 約10トン見込）。

日本で初めてイワナの養殖に成功した栗駒耕英地区においても、「伊達いわな」の養殖が行われており、栗駒耕英地区の新たな「食」の観光資源として期待されています。

昨年12月には、耕英地区の住民や観光事業者が中心となって「栗原観光資源開発ふるさと協議会」が設立され、耕英地区を含めた栗原地域の活性化に向けて「伊達いわな」の販路拡大・PR活動や、地元食材の開発等に取り組んでいくこととなりました。

取り組みの第一弾として、1月25日にハイルザーム栗駒で開催された「伊達いわな試食会」には、栗原市や地元の商工会・区長会をはじめ多くの関係者が参加しました。参加者はにぎり寿司やハラス唐揚げ、焼きリゾットなど「伊達いわな」を使った13種類の和洋様々な料理を味わい、「川魚特有の臭みがなく、おいしい」などの感想が聞かれ、評判は上々でした。また、県の担当者から「伊達いわな」の開発経緯や養殖での注意点、市場流通状況等について詳しい説明があり、参加者はみな理解を深めていました。

当事務所では、引き続き、「伊達いわな」をはじめとした、観光資源や地域食材による取り組みについて支援を行ってまいります。

※全雌三倍体イワナ：

全ての個体を雌にする技術と、通常のイワナが持つ2組の染色体を3組に増やす「不妊化（=卵をつくらせないようにする）技術」を施したイワナのこと。通常の雌イワナと比較して、産卵期に卵に送られるはずの栄養をイワナ本体が使うことができるため、約2倍のスピードで成長し、2～3年で体長約50cm、体重1kgほどになります。また、産卵に伴う味の低下がないため、1年を通しておいしく味わうことができます。



「伊達いわな」（これでも小ぶりのサイズです！）



和洋様々な料理として提供

■お問い合わせ 地方振興部 商工・振興班 Tel:0228-22-2195

築館なめこ生産組合がブランド化部門で大賞を受賞！
～平成 28 年度「食材王国みやぎ」推進優良活動表彰～

北部地方振興事務所栗原地域事務所

築館なめこ生産組合が平成 28 年度「食材王国みやぎ」推進優良活動表彰のブランド化部門で大賞を受賞し、平成 29 年 1 月 31 日に開催された「食材王国みやぎ」推進パートナーシップ会議において表彰されました。この賞は、地産地消の推進やブランドの確立に向けて、先導的、模範的な活動を実践している事業者等の功績を称えるもので、本組合が生産している「めんこい乾燥なめこ」のブランド化に向けた取り組みが評価されたものです。

本組合のなめこ生産量は、県内総生産量の約 4 割を占め、県内一の生産量を誇ります。今回、受賞の対象となった

「めんこい乾燥なめこ」は、なめこの単価が下がる夏場に出荷できずにザルの上で乾燥したなめこからヒントを得て、独自に研究を重ねて商品化し、平成 22 年度より生産が開始されたものです。現在は、「なめこ屋さんのいつでもなめこ」や「なめこ屋さんの炊き込みご飯の素」などのユニークなネーミングで消費者のニーズに合わせたものを商品化し、県内のデパートやホテル等で広く販売されています。

栗原市内の直売所等でも販売していますので、お買い求めいただき、ぜひご賞味ください。

■お問い合わせ 林業振興部 林業振興班 Tel:0228-22-2381



若生副知事から表彰を受ける 菅原仁 組合長

栗駒ダムの堆積土砂を撤去する工事に着手しました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗駒ダムは、治水や利水、発電を目的として建設され、昭和 37 年から運用されている多目的ダムです。

ダムは、水を貯めるための施設ですが、一方でどうしても土砂が堆積してしまいます。栗駒ダムにおける堆積土砂は、平成 19 年度まではおおむね計画どおりの堆砂量で推移してきましたが、平成 20 年 6 月 14 日に発生した岩手・宮城内陸地震以降、急激に増加しており、平成 27 年度の測定の結果では、計画に対してほぼ満杯の堆砂量となっています。このまま堆積土砂を放置すると貯水量の減少により農業用水を十分に確保できなくなるばかりでなく、取水塔などのダム施設の機能に障害を及ぼす恐れも出てきます。

そのため、当事務所では、今年度、しゅんせつ船により堆積土砂の一部を取り除く工事に着手しました。なお、今後は平成 30 年度までの計画でダムに堆積した土砂の撤去工事を行うこととしています。

■お問い合わせ 農業農村整備部 水利施設保全班 Tel:0228-22-2435



土砂撤去工事の状況

平成 29 年みやぎ総合家畜市場子牛市場の初競りが開催されました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

平成 29 年 1 月 17 日から 19 日まで、美里町のみやぎ総合家畜市場で子牛の初競りが開催されました。1 月 17 日は、知事も出席し、関係者による鏡開きが行われ、子牛市場の益々の発展を祈願するとともに、9 月に開催される「第 11 回全国和牛能力共進会宮城県大会」で悲願の日本一を獲得するための決意表明がなされました。

栗原地域の 1 月 18 日市場の上場頭数は 279 頭（去勢：142 頭、雌：137 頭）、平均価格は去勢で 1,004,841 円、雌で 829,125 円、全体では 918,557 円となっており、いずれも県平均を上回る価格で取り引きされました。



子牛市場の初競りでの知事あいさつ

平成 29 年 9 月 7 日から「夢メッセみやぎ」で開催される「第 11 回全国和牛能力共進会宮城県大会」まで半年余りとなり、栗原地域の和牛生産農家の方々は、みやぎ全共出品対策部、JA 栗っこ、栗原市及び県と連携を図りながら出品技術研修会や、地区第 1 次選抜会（4 月）、地区最終選抜会（5 月）、そして出品牛を決定する最終選考会（6 月）に向け日々まい進しています。

全共 出品スケジュール			第11回全国和牛能力共進会宮城県実行委員会事務局出品対策部									
区分	出品牛の選抜基準		平成 28 年度			平成 29 年度						
	生後月齢(生年月日)	父 牛	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
第1区 (若雄)	15～23ヶ月未満 [平27.10.8～平28.6.7]	好平茂, 勝洋		候補牛選定								
第2区 (若雌の1)	14～17ヶ月未満 [平28.4.8～平28.7.7]	県基幹種雄牛	地区第2回出品技術向上研修会 1月下旬		地区第3回出品技術向上研修会 3月下旬							
第3区 (若雌の2)	17～20ヶ月未満 [平28.1.8～平28.4.7]	県基幹種雄牛				地区第1次選抜会 4月中旬～下旬						
第4区 (系統雌牛群)	14ヶ月以上 [平28.7.7以前]	安平勝, 平勝美(宮城)				出品申込書の提出 4月30日まで						
第5区 (繁殖雌牛群)	3産以上の産歴	茂洋					地区最終選抜会 5月中旬～下旬					
第6区 (高等登録群)	14ヶ月以上 孫娘 [平28.7.7以前]	直系3代のうち 2代が 県基幹種雄牛							種牛の部出品牛最終選考会 6月17日(土)～18日(日)			
第7区 (種牛群)	17～24ヶ月未満 [平27.9.8～平28.4.7]	好平茂, 勝洋							種牛の部出品牛集合指導会(全5回) 6月下旬～8月下旬			
第7区 (総合評価群)	24ヶ月未満 [平27.9.8以降]									全共出品牛最終申込み 8月10日まで		
第7区 (肉牛群)	24ヶ月未満 [平27.9.8以降]											
第8区 (若雄後代検定牛群)	24ヶ月未満 [平27.9.8以降]	好福久										
第9区 (肥育去勢牛)	24ヶ月未満 [平27.9.8以降]	好平茂, 勝洋, 忠勝美										

全共出品スケジュール

■お問い合わせ 畜産振興部 畜産振興班 Tel:0228-22-2487

平成 28 年度農地集積研修会を開催しました

北部地方振興事務所栗原地域事務所

栗原市内のほ場整備事業実施地区では、農地の大区画化により農業生産の効率化を図る「ほ場整備」とともに、今後の農業を担う経営体に農地を集めて経営規模の拡大を図る「農地集積」に取り組んでおり、これらを一体的に進めることで、担い手の経営規模拡大や農業生産の効率化を図ることができます。

こうした取り組みをさらに推進するため、1月13日、宮城県大崎合同庁舎を会場に北部地方振興事務所管内（栗原地域及び大崎地域）のほ場整備事業実施地区の農地集積担当者等を対象とした「平成28年度農地集積研修会」を、北部地方振興事務所とともに開催しました。



平成 28 年度農地集積研修会の状況

研修会には、ほ場整備事業実施地区の役員や関係担い手農業者及び市町、土地改良区、JAなどの農地集積担当者120名以上が参加し、「法人化に関する基礎知識」の講演や、「農事組合法人三田島営農組合」と「株式会社愛宕産土農場」の実践事例について講演が行われ、集落営農組織の法人化について知識を深めました。

また、新しい農地の貸借の制度として平成26年度から始まった農地中間管理事業と、ほ場整備事業との連携推進について、宮城県の担当者から情報提供が行われました。

この研修会を通して、さらなる農地集積の推進と担い手の育成に繋がることが期待されます。

■お問い合わせ 農業農村整備部 管理調整班 Tel:0228-22-2398

『主要地方道 中田栗駒線（栗駒岩ヶ崎地区）』の急カーブ解消のお知らせ

北部土木事務所栗原地域事務所

主要地方道 中田栗駒線のうち、栗駒岩ヶ崎地区の旧くりはら田園鉄道の踏切跡付近は、急カーブで歩道が設置されていなかったことから、安全な通行の支障となっていました。

県ではこの箇所について、平成24年度から道路改良工事を進めており、この度、1月25日の正午に新しい道路への切替えを行い、急カーブを解消するとともに、通行の安全を確保しました。



工事箇所



切替え後（左記写真の白抜き矢印の地点から撮影）

■お問い合わせ 北部土木事務所 栗原地域事務所 道路建設班 Tel:0228-22-2189

みんなで予防！インフルエンザ！！

北部保健福祉事務所栗原地域事務所（栗原保健所）

県では、1月26日にインフルエンザ警報を発令し、インフルエンザへの感染予防対策と感染拡大防止対策の徹底について注意喚起を行っています。

当事務所管内では、今年の第4週（1/23～1/29）以降、感染症発生動向調査の対象となっているインフルエンザ定点医療機関からの患者報告数が急激に増え始め、第6週（2/6～2/12）において、156人（1 定点医療機関当たり 52 人）の報告がありました。

流行のピークは例年1月から2月までですが、引き続き、インフルエンザの感染を広げないため、予防に努めましょう。

なお、当事務所ホームページに、感染症の管内発生状況や予防対策を紹介する「栗原感染症情報」を掲載しておりますので、ご活用ください。

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/kuriharakansensyouzyouhou.html>

○流行時期：例年11月下旬から3月頃まで

○主な症状：・38℃以上の発熱、咳、のどの痛み、頭痛、関節痛、筋肉痛等全身症状

・持病のある方、乳幼児、高齢者は、重症化することがあるため要注意

○感染経路：・咳、くしゃみ、会話等から発生する飛沫による感染（飛沫感染）

・飛沫の付着物に触れた手指を介した感染（接触感染）

○予防のポイント：

- ・飛沫感染対策としての咳エチケット（マスクの着用）
- ・外出後の手洗い
- ・十分な栄養とバランスのとれた食事
- ・適度な湿度の保持
- ・人混みへの外出を避ける
- ・流行前のワクチン接種

○インフルエンザにかかってしまったら：

- ・具合が悪いときは早めに医療機関を受診
- ・咳やくしゃみのある時はマスクの着用
- ・無理をして学校や職場に行かない
- ・安静にして休養、睡眠をとる
- ・水分補給



■お問い合わせ 北部保健福祉事務所 栗原地域事務所（栗原保健所） 疾病対策班

Tel :0228-22-2117

農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています

(平成 29 年 1 月 16 日～2 月 17 日)

北部地方振興事務所栗原地域事務所

1 月 16 日から 2 月 17 日までの間に農林産物 15 点を簡易検査し、すべてが食品の基準値（100 ベクレル/kg）以下でした。

このように、市場に流通している農林産物は計画的に検査して安全性を確認しておりますので、安心してお召し上がりください。

☆簡易検査の測定値が基準値以下であったもの（1/16～2/17）

農産物			林産物			
品名	施設	露地	品名	施設	露地	野生
きくいも	—	◎				
じゃがいも	—	◎				
だいこん	—	◎				
チンゲンサイ	◎	—				
つぼみ菜(2点)	◎	◎				
にんじん	—	◎				
ねぎ(3点)	—	◎				
はくさい	—	◎				
ゆきな	—	◎				
レタス	—	◎				
れんこん	—	◎				
わさびな	◎	—				

◎：基準値以下

—：検査未実施

食品群	基準値(1kg あたり)
飲料水	10 ベクレル
乳児用食品	50 ベクレル
牛乳	50 ベクレル
一般食品	100 ベクレル

詳しくは厚生労働省 HP を
ご覧ください。

http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html

■お問い合わせ 農業振興部 先進技術班 Tel:0228-22-9437 (農産物)

林業振興部 林業振興班 Tel:0228-22-2381 (林産物)

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所 (地方振興部)

〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木 5-1 Tel: 0228-22-2195(直通) Fax: 0228-22-6284

E-mail: nk-khsinbk@pref.miyagi.jp

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/9.html>

※次号(第31号)は平成29年5月1日発行予定です。